

ごとう通信

第 284 号

令和 6 年 8 月 1 日

に辛くなることはありませんでした。体が慣れるだけでなく、暑さのピークも7月だったように思います。

ところが、最近では6月中盤から暑くなり、10月に入っても残暑があります。なんと4カ月！本当に長くなりました。

また、かつては省エネと言ってエアコンよりも扇風機という風潮もありましたが、この暑さで社会的にエアコンを奨励するようになりました。もちろん、エアコンで快適に過ごせるようになったのですが、その室外機からの排気で暑さの質感が変わったと思います。団地や高層マンションの側に行くとモワツとするような暑さを感じます。

まあ、なんといってもこの暑さを乗り切らないといけません。お互い

今年も当然のように暑い日が続きます。そして「昔より暑くなった」という声をよく聞きます。私自身は25年前から外回りもやっているのに、夏を体感してはいますが、昔も暑い日はありました。ただ、暑い期間と質は確かに変わったと思います。

訪問診療を始める前は大病院に勤務しており、朝から晩まで涼しい病院にいました。その後訪問を始め、



夏場でも自転車移動。最初はダメージがありました。ただ、7月の前半から中盤にかけて最も辛く、その後はそんな

体調の管理はしっかりやりましょう。

学校教育

私は昭和40年生ですから、「お受験」の第一世代です。小学3年生から受験塾に通いましたし、中学受験も経験しました。そしてこの歳になって、あの受験戦争ってなんだっただのかと思うことがあります。

日本型の詰め込み式教育は個性をなくし、考える力を育てないと言われます。社会人になって30年以上が経ち、そうかもしれないと思うことはあります。

そんなこともあり、教育には興味があります。これまでの詰め込み型教育から、どうやって次世代の若者が成長できる教育をしていくのか。